

街の声に「おかしい」 — 首相、出演テレビで逆ギレ

安倍晋三首相は、解散表明した18日の深夜テレビ番組に相次いで出演し、「電波ジャック」を試みました。民放のキャスターから経済政策や解散の時期について疑問を示されると、「それは間違っている」とたびたび逆上しました。

TBS「ニュース23クロス」はアベノミクスに対する街の声を紹介。「効果はあった」「全然、恩恵を受けていない。給料も上がっていない」と賛否両論を流しましたが、首相は「6割の企業が賃上げしている。全然、声に反映されていません。これ、おかしい」と反発。「(テレビ局の)皆さん(声を)選んでおられる」と、偏向番組かのように非難しました。



キャスターから「実質賃金が15カ月連続で減少している」と言われると、質問をさえぎって「大事なところなんで言わせて」「もう一点言わせて」と横車。「国民総所得はプラスになっている」と都合のいい議論を展開し、批判に耳を貸さない態度でした。

日本テレビ「ニュースゼロ」のインタビューで、解散時期について「総選挙をしているときではない」と問われると、何度も質問をさえぎり「それは間違っている」と強弁。「われわれは常に命をかけている。選挙は政治家にとって命がけだ」と気色ばみ、世論調査で65%が解散に「反対」と答えたことについて「(政権を)そのままやれといっている方が65%もいる」などと論議をすりかえました。



首相の態度はインターネット上で話題に。ツイッターで「街の声聞いて首相キレているわ。国民の声だぞこれは」などの声が飛び交いました。

総選挙12月2日公示 14日投票へ 衆院21日に解散

首相、消費税10%実施を断言 17年4月—

国民総力で
増税中止に

安倍晋三首相は18日夜、首相官邸で記者会見し、衆院解散を21日に行うと表明しました。また来年10月の消費税率10%への引き上げを先送りし、2017年4月に10%再増税を「確実に実施する」と明言しました。会見に先立ち開いた自民党役員会で、安倍首相は総選挙を12月2日公示、同14日投票の日程で行う方針を示しました。

安倍首相は会見で、消費税8%への増税が「個人消費を押し下げる重石となった」ことを認めたとえ、「来年10月から消費税を2%引き上げることは個人消費を押し下げデフレ脱却も危うくなる」とし、「アベノミクスの成功を確かなものとするため、消費税率の10%への引き上げを18カ月延期する」と述べました。10%再増税を「再び延期することはない」と断言もしました。そのうえで「私たちの経済政策の推進について、国民の皆さまの判断を仰ぎたい」として、総選挙を実施するとししました。

また安倍首相は、記者の質問に答え、原発再稼働や集团的自衛権行使の法制化を「公約に書き込む」と発言。総選挙で、自民、公明与党で過半数を維持できなければ、「アベノミクスが否定されたことになり、私は退陣する」と明言しました。